教 育 研 究 業 績 書

平成２９年５月１日
氏名　黒 澤　一 幸　印

研究分野	研究内容のキーワード
特別支援教育	知的障害教育課程、指導法、領域・教科をあわせた指導

教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1．教育方法の実践例	平成26年4月～7月 平成26年9月～1月	「特別支援教育論」において、重要語彙を記入する自作のプリントを毎時間作成した。ＶＴＲを活用して特別支援教育の実際を理解できるようにした。 「スキルアップセミナーⅡ」において、保育における伝承遊びの持つ意義を理解すると共に、学生同士の学びあいの深化を目指して、ベーゴマ、あやとりなどの伝承遊びを実際に体験する授業を展開した。
2．作成した教科書、教材		
3．教育上の能力に関する大学等の評価	平成28 年3月31 日	特別支援教育畑一筋に養護学校、特別支援学校（教頭･校長経験）や県教育局課長、南教育センター指導主事の経験を生かし、「特別支援教育論」「社会的養護内容」「教育原理」「施設実習」等を担当。管理職経験を基礎に学生に教授するなど能力を発揮している。
4．実務の経験を有する者についての特記事項	昭和 59 年度 昭和 61 年 11 月 平成 4 年度 平成 13 年度	文部省特殊教育内地留学生として「生活単元学習の実証的研究」のテーマで千葉大学教育学部において１年間の研修に取り組み報告書にまとめる。 埼玉県教育公務員共済会教育研究実践論文最優秀賞「わかる･できる紙すき作業の実践」 埼玉県特殊教育教育課程編成要領〔4〕盲学校・ろう学校・養護学校高等部編作成協力者 埼玉県教育課程検討委員会委員 埼玉県特殊教育教育課程編成要領(1)盲学校・ろう学校・養護学校幼稚部・小学部・中学部編作成協力者

		埼玉県特殊教育教育課程編成要領(3)盲学校・ろう学校・養護学校高等部編作成協力者
	平成 16～17 年度	全国特殊学校長会理事
	平成 20 年度	「埼玉県特別支援教育教育課程編成要領(1)特別支援学校編〔教育課程の編成〕」に埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課長として編成作業にあたる。
	平成22～24年度	全国特別支援学校長会理事
	平成22～24年度	埼玉県特別支援学校長会会長 埼玉県高等学校長協会理事
5．その他	平成25年4月～ 平成26年3月	学校評議員（埼玉県立本庄特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言を行う。
	平成25年11月13日	埼玉大学教育学部附属特別支援学校第43回研究協議会高等部分科会の指導者を担当し知的障害特別支援学校におけるキャリア教育の望ましい在り方について助言をする。
	平成25年8月19日	平成２５年度第３９回関東甲信越地区特別支援学校知的障害教育教頭会研究協議会埼玉大会第３分科会「小学部からのキャリア教育推進における副校長・教頭の役割」において指導者としてキャリア教育について助言を行う。
	平成26年6月～ 平成27年3月	学校評議員（埼玉県立本庄特別支援学校、埼玉県立大宮北特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言をする。
	平成27年6月～ 平成28年3月	学校評議員（埼玉県立大宮北特別支援学校、埼玉県立毛呂山特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言をする。
	平成27年6月～ 平成28年3月	平成２７年度埼玉県立本庄特別支援学校「未来を拓く学校づくり推進委員」として、埼玉県教育委員会委嘱研究を受けた同校の指導助言にあたる。
	平成27年6月12日	平成27年度埼玉県特別支援教育研究会総会において講演「特別支援教育担当者に望むこと～知的障害教育の理念の確認～」を行う。
	平成27年11月13日	平成２７年度全国特別視支援学級設置学校長協会秋季研究協議会埼玉大会（第３２回関東甲信越地区特別支援学級等設置学校長協会秋季研究協議会埼玉大会）において、記念講演「埼玉県の特別支援教育の歩みから見えるもの～支援籍の取り組みを通して～」を行う。
	平成28年6月～	学校評議員（埼玉県立大宮北特別支援学校、埼玉県立毛呂山特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言をする。
	平成28年4月～	平成２７年度埼玉県立本庄特別支援学校「未来を拓く学校づくり推進委員」として、埼玉県教育委員会委嘱研究を受けた同校の指導

		助言にあたる。
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1．資格、免許	昭和51年3月23日	特別支援学校一種（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）教員免許（昭５０養一普第９８号千葉県教委） 中学校一種（技術）教員免許（昭５０中一普第１３９９号千葉県教委） 高等学校一種（工業）教員免許（昭５０高二普第１９８０号千葉県教委）
2．特許等		
3．実務の経験を有する者についての特記事項	平成28年7月～ 平成28年11月～	鳩山町まち・ひと・しごと創世総合戦略推進本部専門部会委員として「鳩山町まち・ひと・しごと総合戦略」の作成に参画する。 鳩山町子ども・子育て会議及び鳩山町次世代育成支援対策地域協議会委員として第二次鳩山町ひとり親家庭等支援計画の検討に参加する。
4．その他	平成２５年４月～平成２６年３月 平成２５年11月13日 平成２５年８月19日 平成２６年６月～平成２７年３月 平成27年６月１２日 平成２７年11月13日	学校評議員（埼玉県立本庄特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言を行う。 埼玉大学教育学部附属特別支援学校第43回研究協議会高等部分科会の指導者を担当し知的障害特別支援学校におけるキャリア教育の望ましい在り方について助言をする。 平成２５年度第３９回関東甲信越地区特別支援学校知的障害教育教頭会研究協議会埼玉大会第３分科会「小学部からのキャリア教育推進における副校長・教頭の役割」において指導者としてキャリア教育について助言を行う。 学校評議員（埼玉県立本庄特別支援学校、埼玉県立大宮北特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言をする。 平成２７年度埼玉県特別支援教育研究会総会において 講演「特別支援教育担当者に望むこと～知的障害教育の理念の確認～」を行う。 平成２７年度全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会埼玉大会（第３２回関東甲信越地区特別支援学級等設置学校長協会秋季研究協議会埼玉大会）において、記念講演「埼玉県の特別支援教育の歩みから見えるもの～支援籍の取り組みを通して～」を行

		う。
	平成２８年6月～平成２９年3月	学校評議員（埼玉県立大宮北特別支援学校、埼玉県立毛呂山特別支援学校）として校長の求めに応じ学校運営等に関する提言を行う。
	平成２８年4月～平成２９年3月	平成２８年度埼玉県立本庄特別支援学校「未来を拓く学校づくり推進委員」として、埼玉県教育委員会委嘱研究を受けた同校の指導助言にあたる。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
（著書） １　キャリアトレーニング事例集Ⅳ福祉サービス	共著	2011(平成23)年3月	全国特別支援学校知的障害教育校長会編 ジ・アース教育新社	「これからの特別支援学校高等部におけるキャリア教育」P4～7 黒澤一幸、住田律夫、嘉田龍人 発達プロフィール表が求められる背景、発達プロフィール表から組み立てられる学校生活の問題、仲間との生活を大切にした学校生活作りについて解説する。
２　特別支援教育の展開とADHD児の支援	共著	2011(平成23)年10月	久美株式会社	第２章「埼玉県における特別支援教育の展開」、P31～51 半澤嘉博、黒澤一幸、若葉陽子 専門教科「福祉」新設の経緯とキャリア教育を推進する意義、資格制度を生かした教科「福祉」の展開、福祉サービスを展開する教育課程編成の在り方について論説する。
３　特別支援の「子ども理解」～よさが生きる教育サポート～	共著	2012(平成24)年2.月	K&H	第２章第２節第５項「考えよう発達プロフィール表」P39 高倉誠一、太田俊己、黒澤一幸 高等特別支援学校における学校組織としての専門性の向上に向けた取り組みに関するさいたま桜高等学園の研究実践の報告について考察する。
４　知的障害教育における専門性の向上と実際	共著	2012(平成24)年3月	全国特別支援学校知的障害教育校長会編 ジ・アース教育新社	第２部実践事例編、第５章「学校組織としての専門性」2「高等特別支援学校における専門性の向上に向けた実践」P149～150 竹林地毅、笹川ともえ、黒澤一幸
５　高等部生徒の多様化とその対応	単著	2014(平成26)年９月	日本発達障害連盟	全国の特別支援学校知的障害教育校における高等部生徒の多様化の状況を概観すると共に、多様化する生徒への対応の在り方について、ハード面・ソフト面の一層の充実を、小中学校支援の継承と充実、生徒指導等に対応できる職員の確保、発達障害等に関する教職員の専門性の向上、高等学校における特別の教育課程編成の検討について提言する。 「発達障害白書2015年版」 P.74～75

６　新学期を魅力的にスタートするための”学級づくり・授業づくり”のポイントは何ですか？	単著	2015(平成27)年５月	「特別支援教育の実践情報」明治図書	特別支援学級や特別支援学校における新学期の学級づくり・授業づくりについて、係活動の決め方のポイント、新入生歓迎会の計画のポイント、教室環境整備のポイント、授業づくりのポイントについて担任を対象に具体的に解説する。 「特別支援教育の実践情報」2015年４／５月号
７　生活単元学習の原点とこれからの生活単元学習	単著	2016(平成28)年10月	「特別支援教育研究」全日本特別支援教育研究連盟	特集「生活単元学習　アクティブラーニングで生活の質を高める」の巻頭論説として、新学習指導要領において指導の基底に据えられようとしているアクティブラーニングに関わり、知的障害教育の中心的な指導の形態である生活単元学習の原点とこれからの生活単元学習のあり方について論述する。 「特別支援教育研究」710号、全日本特別支援教育研究連盟